

新编日本语 能力考试

1 级 读解训练

主编：朱丽颖 闫雪雯



东华大学出版社

新编日本语 能力考试

1 级 读解训练

主 编 朱丽莉 闫雪雯
副主编 周桂香 曲凤
编 委 刘 峰 李 婷
周海宁 李天镇

江苏工业学院图书馆
藏书章



东华大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

新编日本语能力考试 1 级读解训练/朱丽颖等编.
—上海:东华大学出版社,2006.10
ISBN 7-81111-132-2

I. 新... II. 朱... III. 日语—阅读教学—水平
考试—习题 IV. H369.4-44

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 120987 号

新编日本语能力考试 1 级读解训练

朱丽颖 闫雪雯 主编

东华大学出版社出版

上海市延安西路 1882 号

新华书店上海发行所发行

苏州望电印刷有限公司印刷

开本: 787×960 1/16 印张: 14 字数: 268 千字

2006 年 10 月第 1 版 2006 年 10 月第 1 次印刷

印数: 0 001~6 000 册

ISBN 7-81111-132-2/H·044

定价: 25.00 元



前言

读解是测试考生外语水平的主要标志之一,因此在日语能力测试中,阅读理解部分所占比重较大,分值较高,很多考生尽管为了备考做了很多练习题,但是该部分成绩依然不尽如人意,究其原因,除了基础能力较差之外,还有一个重要原因就是由于未能掌握阅读方法与解题技巧所致。

虽然阅读考试题目的文章有长有短,体裁不同,内容迥异,但是它们自有其内在的命题规律可寻,本书的编写目的就是解明这些规律并提出相应的解题方法,供广大考生参考。我们相信,这些方法和技巧针对性强、简明易学,学习者可以借助它们迅速判明关键词语,找出命题设问的内在逻辑,从而求得正确答案。

本书为日语能力测试一级阅读理解。在编写过程中我们通过对近年大量真题的归纳和梳理,结合编者多年来对考生补习辅导的经验,首先以摸底形式[按照历年一级阅读理解真题模式(长篇)]出5篇自测题,其中包括:随笔、会话、叙述文、小说、议论文,让考生首先针对自己的实力进行自测。找出自己的弱点,然后进入阅读方法和解题技巧的讲解部分,在这部分我们对一级阅读理解有什么样的题型,各题型用什么样的解题方法可以简明易学地解题做了详细地解释,并且还对考生提出了做一级阅读理解时应注意的事项。为了说明阅读方法和解题技巧,在解说时大部分都选用了真题为例讲解,而作为自测题,我们也选用了与目前能力考试的风格和难度非常相近的最新题型的一些其它题为例。

最后一部分我们编写了长篇阅读,因为日语一级长篇阅读共有5种体裁构成:说明文、记述文、随笔、小说、对话。所以首先对如何做这些长篇阅读进行讲解后,进入到综合能力测试阶段。

希望通过本书的学习,能使读者尽快走出“死做题”的误区,收到事半功倍的效果。

由于时间关系,在本书编写过程中不足之处在所难免,望专家读者批评指正。

编者于大连

概 论

一、一级阅读理解考试概述

1. 考试目的

读解(即阅读理解)部分是日语能力测试中最重要的一项,也是分值较多的一部分,它的目的不是为了考察应试者学习了多少日语知识,而是要测试应试者用所学的日语知识、技能,快速准确地阅读日语文献资料,获取信息,解决实际问题的综合能力、理解能力及掌握语言的熟练程度。

2. 考试时间分配

阅读理解和语法共 70 分钟,因为语法大多都是固定搭配,所以应尽快做完语法,多保留些时间给阅读理解,阅读理解和语法不同,答案线索都在文章中,多读几遍就有可能找到正确答案。

3. 试卷组成及文章选材

阅读考题文章有长有短,一般长文 1~2 题,1000~1200 字,一般设 6 问,中篇文章一般 4 篇,设三问,短篇短文一般 5 篇,设一问。2004 年一级考试阅读理解试题中,一篇较长的文章(或某篇文章的部分章节)和四篇中篇文章和 5 篇较短的文章(或部分段落)组成,共 15000 字左右,共 23 问。

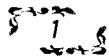
文章选材涉及到日语方方面面的知识,体裁有说明文、论述文、叙述文、小说、随笔、对话等。

4. 评分标准

一级考试问题每题 5 分与语法题合计共 200 分。例如 2005 年一级,阅读题共有 24 个问题,卷面为 120 分,语法题 35 题,卷面分为 70 分。阅读理解考试得分计算按(正解总题数×5)÷(卷面总分)×200 的公式计算。(小数点 4 舍 5 入)

二、读解概述

读解是指读后对文章的理解,是语言能力的综合。并且是日语能力测试中最



重要的一项,也是分值较多的一部分。它的目的不是考察应试者学习了多少日语知识,而是要测试应试者具有的应用所学日语知识、技能,快速准确地阅读日语文献资料、获取信息、解决实际问题的综合能力、理解能力及掌握语言的熟练程度。但是在阅读理解过程中,由于民族思维方式,语言表达习惯的不同,往往会出现许多困惑。因此要求学生在阅读理解过程中,首先必须按照所学语言国——日本人的思维方式和语言表达习惯充分理解文章的结构及语言的使用,应按原文顺序通段通读,这样有利于理解作者的思路,抓住主题和大意,有利于各部分的理解。因此阅读一篇文章应该做到:

1. 通览全文,熟悉问题

通览全文时要注意文体、文纲、文章内容等,从而对文章的整体结构和内容有个大致的认识。所得信息可帮助解答问题确立一个总的基本思路。

但是由于阅读时间有限,所以我们在进入阅读之前一定要认真看一下问题,带着明确的目的性,有的放矢地去阅读。而且往往对文章的内容,所提的问题等都会有所提示,从而帮助指导阅读和理解。

2. 通读全文,了解文章的整体内容

通读全文主要是找出文章的要点,了解文章的大意和主旨。阅读是可以采用跳读和略读的方法,注意力集中在文章意义的关联上,要避免在个别词句上过多纠缠。

3. 寻找和分析理解具体信息

主要包括上下文的逻辑关系,隐含的消息、生词等。这些具体的信息往往是设在问题之外或直接影响解题部分。根据这些相关联的信息做出合理的推论,正确的判断。

阅读理解要求能辨认句素及扩展句素。理解指示词所指代的内容,理解文章各部分之间的关系。能找出主要论点和重要信息,寻找隐含的信息和观点。归纳中心思想,猜测生词词义。推测文章的发展和结果。获取段落大意等。

以上只是理论上的论述在实际阅读时还需要综合各项因素灵活运用才能达到一定的效果。下面将分几个部分具体介绍阅读方法与技能。

目 录

前言	1
概论	1
第一部分 自测实力题	1
第二部分 读解方法与技巧	13
第一章 指示语	13
第二章 提炼相同内容	28
第三章 提炼主题	40
第四章 原因、理由	53
第五章 填空	65
第六章 图示图表题	78
第七章 排列顺序题	97
第三部分 长篇阅读	104
第四部分 参考答案	209

第一部分 自測實力題

問題Ⅰ 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、①、②、③、④の中から最も適当なものを一つ選びなさい。

春休みに入ってからすぐ、私は走り始めた。橋まで行って、家に戻ってくると、タオルや衣類をきちんと洗い、乾燥機にかけて、それから朝食を作る母を手伝った。そして少し眠る。そういう生活を続けた。夜は友達に会ったり、ビデオを見たりして、なるべく暇な時間を作らないように必死で努力した。それは全く不毛ふもう_(注1)な努力だ。本当は、したいことなんて、何一つありはしなかった。ただ、彼に会いたかった。しかし、私はどうしても①何か手や体や心を動かし続けなくてはいけない気がした。そして、②この努力むしんを無心に続ければいつかは何か突破口とっぱこう_(注2)につながると思っていた。保証は何もないが、③それまでは何とか持ちこたえようと④信じた。犬が死んだ時も、小鳥が死んだ時も、大体こんなふうに持ちこたえた。そして、⑤これはその特番なのだ_(注4)。私は祈るように思い続けた。大丈夫、大丈夫、いつかはここを抜ける日がやってくる。

折り返し地点は町を大体二つに分けている大きな川だ。白い橋がかかっているその場所まで20分ぐらいかかった。私はその場所が好きだった。川向こうに住む彼といつも待ち合わせをしたのもそこだったし、彼が死んでからも私はそこが好きだった。だれもいない橋のところで、川音に包まれて水筒の中の熱いお茶をゆっくり飲んで休んだ。白い土手どて_(注5)がどこまでもぼんやりと続き、青い夜明けの霧で街の景色にかすみがかかる(注6)。澄んでぴりぴりと冷たい空気の中でそうして立っていると、自分がほんの少し「死」に近いところにいるように思えた。実際、厳しく透明なひどく寂しい⑥その光景の中でだけ、今の私は楽に呼吸がで

きた。^{じぎやく}自虐。ではない。なぜなら、⑦その時間がないと、私はどうしてか、その後のその日一日をうまくやれる自信が全く持てなかったからだ。かなり切実に、今の私にはその光景が必要だった。

(吉本ばなな「ムーンライト・シャドウ」ベネッセコーポレーション)

- (注1) 不毛な:実りのない
 (注2) 突破口:厚い壁を突き破る手掛かり
 (注3) 持ちこたえる:耐えて長く保つ
 (注4) 特番:特別番組
 (注5) 土手:堤防 かすみ(霞)
 (注6) がかかる:全体がぼんやりしているようす
 (注7) ^{じぎやく}自虐:自分をわざと苦しめること

【問1】なぜ①「手や体や心を動かし続けなくてはいけない気がした」のか。

- ① 時間をむだに使うことが嫌いだから
 ② しなければならぬことがたくさんあるから
 ③ したくないことでもしておけば後で役に立つかもしれないから
 ④ 何かしていないと空しさや苦しさに負けてしまいそうだから

【問2】②「この努力」とはどんな努力か

- ① 毎日走り続ける努力 ② 暇な時間を作らない努力
 ③ 疲れていても母を手伝う努力 ④ 彼に会うための努力

【問3】③「それまでは」とは具体的に何を指すか

- ① やらなければならないことを全部やり終えるまでは
 ② 自分が本当にしたいことがみつかるまでは
 ③ 絶望から抜け出す手掛かりが見つかるまでは
 ④ 会いたい彼にいつか会える日が来るまでは

【問4】何を④「信じた」のか。

- ① 努力を続けていればいつか絶望から抜け出せることを
 ② 犬の死も小鳥の死も運命だったということ
 ③ 努力を続けていればいつか彼に会える日が来ることを
 ④ 自分の努力がみんなに認められる日が来ることを

【問5】 ⑤「これはその特番なのだ」とは、どういう意味か。

- ① 犬や小鳥の死は、私の人生で特別辛い大変なことだったのだ。
- ② 犬や小鳥が死んだときに持ちこたえたこの方法は特別なものののだ。
- ③ 今回は犬や小鳥の時と同様のことが特別大きな形で来ただけなのだ。
- ④ 今回は犬や小鳥のときとは全く違う特別なことなのだ。

【問6】 なぜ⑥「その光景の中でだけ、今の私は楽に呼吸ができた」のか。

- ① そこにいと、死んだ彼と一緒にいるような気がするから。
- ② そこにいと、死んだ彼が戻ってくるような気がするから。
- ③ そこにいと、自分も死ねば苦しみが消え楽になると思うから。
- ④ そこにいと、彼の死を悲しむありのままの自分でいられるから。

【問7】 ⑦「その時間」とは具体的に何を指すか。

- ① 夜明けに橋まで行って戻ってくる時間
- ② 橋のところで熱いお茶をゆっくり飲んで休む時間
- ③ 手や体や心を動かし続けて彼の死を忘れる時間
- ④ 橋から見る夜明けの光景の中に身を置く時間

問題Ⅱ 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、①、②、③、④の中から最も適当なものを一つ選びなさい。

社会が合理的になって、というより、理屈っぽくなってきて、あたたかい人づきあいが少しずつ^(注)たってきている。隣りと口をきかないからといって別にけんかをしているわけでもない、というのは、マンションの住人では珍しくもない。自分の生活にも立ち入ってほしくないが、他人の生活にも好奇心をもたない。かわりをもたたくないというのが①都市型の生活である。

それと表裏をなすのだが、②ことばがうまく通じないという不安がある。ということばで話しかけたらわかってもらえるのか、それがよくわからない。めんどうだから黙っていよう。それでなくても世の中はすこしうるさすぎるのだ。そういう市民の感情は、(③)をつくりあげる方向へ向かっているといつて

よい。

こういう現象が人間砂漠のような社会をつくりあげる。知った人同士が会っても知らぬ顔をしている。当人たちには、別に対立感情があるわけではない。ただ、用がないから黙っていたにすぎないというであろう。

しかし、行き会っても、あいさつもかわさないでいると、そのうちに、**①物理的摩擦が心理的性格をおびるようになる。**人間と人間がすれちがえば物理的摩擦が起きるのは当然だが、まったく未知の人なら、それはそのままで終わる。ところが知っている人で、ときどきこの摩擦がくりかえされると、たんなるすれちがいではなくて、心理的摩擦に変質する。そしていつしか、「えたいの知れないやつ」とか「感じのよくない人間」といった印象をもち合うことになる。

いったん起こった心理的摩擦は解消すべきものがないまま、いよいよ高まってくる。そして、いつのまにか、ほんとうの対立のようなものになってしまうことが少なくない。対立があるから口をきかないのではなくて、**[⑤]**，ということがいかに多いことだろう。敵だと思っていた人が、話してみると思ったよりずっと気心のいい人であった，ということはいわゆるたえず経験するところである。ことばが人間関係の調整にもつ役割を改めて認識する必要がある。

(外山滋比古「ことばの習俗」三省堂より)

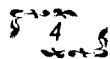
(注) すたって:すたれて、少なくなって、衰えて

【問1】「**①都市型の生活**」としてふさわしくないものを一つ選びなさい。

- ① マンションの隣りの人と口をきかないこと
- ② 他人に自分の生活にも立ち入ってほしくないと思うこと
- ③ 少しずつあたたかい人づきあいをすること
- ④ 他人の生活にかかわりをもたたくないと思うこと

【問2】ここでいう「**②ことばがうまく通じない**」というのはどういうことか。

- ① 日本に来て都会で生活するとき、ことばがうまく通じないということ
- ② 隣人たちと何をどう話したらよいかがよくわからないということ
- ③ マンションの隣人に話しかけられてもことばが違っていてわからないということ



- ④ 他人と話をしようとしてもその人の性格がよくわからないということ

【問3】 (㉓)に入る適当なものはどれか。

- ① 創造の社会 ② 感情の社会
③ 交流の社会 ④ 沈黙の社会

【問4】 「㉑物理的摩擦が心理的性格をおびるようになる」とはどういうことか。

- ① ことばを交わさずにいるとやがて心理的にも悪い印象を持つようになるということ
② 心理的摩擦は物理的摩擦をくりかえすことによるのみ生じるということ
③ すれちがいによってけんかのような物理的摩擦が起きるのは当然だということ
④ 「感じのよくない人間」という印象は未知の人との物理的摩擦で生じるということ

【問5】 [㉕]に入る、最も適当なものはどれか。

- ① 口をきかないでいたのに対立してしまう
② 口をきいたとたんに対立してしまう
③ 口をきいたままにいるから対立してしまう
④ 口をきかないでいるから対立してしまう

【問6】 筆者がこの文章で言いたいことはどれか。最も適当なものを一つ選ばさい。

- ① 敵だと思っていた人が話してみるといい人であることを認識しなければならない
② 心理的摩擦は物理的摩擦によるのみ生じることを認識しなければならない
③ 人間関係を調整する上で、ことばがもつ役割の大切さを認識しなければならない
④ 人間関係が対立しないよう、常にことばの有効性を認識しなければならない

問題Ⅱ 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、①、②、③、④の中から最も適当なものを一つ選びなさい。

京都に住む染織家志村さんせんしよくかの仕事場を訪ねたおり、志村さんが何とも言えない美しい桜色に染まった糸で織った着物を見せてくれた。そのピンクは、淡いようであり、しかも燃えるような強さを内に秘め、華やかでしかも深く落ち着いた色だった。(注1) (①—a)美しさは、目と心を吸い込むように感じられた。

「この色は何から取り出したんですか。」

「桜からです。」

と、志村さんは答えた。素人の私は、すぐに桜の花びらを煮詰めて色を取り出したものだろうと思ったが、実際はこれは桜の皮から取り出した色なのだった。(①—b)黒っぽいごつごつした桜の木の皮から、(①—c)美しいピンクの色が取れるのだと言う。志村さんは続けてこう教えてくれた。この桜色は一年中どの季節でも〔②〕。桜の花が咲く直前のころ、山の桜の皮をもらってきて染めると、こんな、えも言われぬ美しい色を取り出せるのだ、と。(注2)

私は(①—d)話を聞いて、体が一瞬揺らぐような③不思議な感覚に襲おそわれた。春先、もう間もなく花となって咲き出ようとしている桜の木が、花びらだけでなく、木全体で懸命に最上のピンクの色になろうとしている姿が、私の脳裏のうりにゆらめいたからである。花びらのピンクは、幹のピンクであり、樹皮のピンクであり、樹液のピンクであった。桜は全身で春のピンクに色づいていて、花びらは、(①—a)それらのピンクが、(①—b)先端せんたんだけ〔④〕。(注3)

考えてみれば、これは(①—c)そのとおりで、木全体(注5)の一刻も休むことない活動の精髓せいすいが、春という時節に桜の花びらという一つの現象となるにすぎないのだった。しかし、我々の限られた視野の中では、桜の花びらに現れ出た〔⑤〕。(①—d)志村さんのような人がそれを樹木全身の色として見せてくれると、〔⑦〕。

(大岡信「言葉の力」花神社)

- (注1) 秘める:かくし持つ
(注2) えも言われぬ:言葉で言い表すことができない
(注3) 脳裏:頭の中
(注4) ゆらめい:揺れ動きながら現れる
(注5) 一刻:一瞬
(注6) 精髓:最も大切な優れた部分

【問1】 ①—a~dに入る言葉の,正しい組み合わせを選べ。

- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| ① a. この | b. あの | c. この | d. あの |
| ② a. その | b. その | c. あの | d. この |
| ③ a. その | b. あの | c. この | d. その |
| ④ a. この | b. その | c. あの | d. あの |

【問2】 [㊦]にはどんな文が入るのが適当か。

- | | |
|--------------|-------------|
| ① とれないことがある | ② とることができない |
| ③ とるわけにはいかない | ④ とれるわけではない |

【問3】 なぜ㊦「不思議な感覚に襲^{おそ}われた」のか。

- ① 生きた桜の精が目の前に現れたような気がしたから。
② 黒い木の皮から美しいピンク色が取れるということが信じられなかったから。
③ 桜が咲く直前の皮からだけ美しいピンク色がとれることが不思議だったから。
④ 桜の精が筆者の心を吸い取ってしまう気がしたから。

【問4】 [㊦]にはどんな文をいれたらよいか。

- ① 姿を現したものにすぎなかった
② 姿を現したわけではなかった
③ 姿を現したはずはなかった
④ 姿を現したことがあった

【問5】 [㊦]にはどんな文をいれたらよいか。

- | | |
|--------------|-------------|
| ① ピンクは見えない | ② ピンクも見える |
| ③ ピンクだけよく見える | ④ ピンクしか見えない |

【問6】 ⑥—a～dに入る言葉の、正しい組み合わせを選べ。

- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| ① a. まさに | b. ほんの | c. たまたま | d. いわば |
| ② a. いわば | b. ほんの | c. まさに | d. たまたま |
| ③ a. いわば | b. まさに | c. ほんの | d. たまたま |
| ④ a. まさに | b. たまたま | c. ほんの | d. いわば |

【問7】 [⑦]にはどんな文をいれたらよいか。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① ほっと安心する | ② じっと見つめる |
| ③ はっと驚く | ④ ぽっと思い出す |

問題Ⅳ 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、①、②、③、④の中から最も適当なものを一つ選びなさい。

「やれやれ、なんとか大発明が完成した」

小さな研究室のなかで、エフ博士は声をあげた。①それを耳にして、おとなりの家の主人がやってきて聞いた。(中略)

「すごいものですね。これを使うと、すばらしい夢でも見られるのでしょうか」

「いや、もっと役に立つものだ。眠っていて勉強ができるしかけ。(②),マクラのなかにたくわえてある知識が、電磁波(注1)の作用によって、眠っている間に、頭の中に送りこまれるというわけだ」

「なんだか便利そうなお話ですが、それで、どんな勉強ができるのですか」

「これはまだ試作品(注2)だから、英語だけだ。眠っているうちに、英語が話せるようになる。しかし、改良を加えれば、ほかの勉強にも、同じように使えることになるだろう」

「a」

おとなりの主人は、ますます感心した。博士は、とくいげにうなずいて答えた。

「その通りだ。近ごろは、努力をしたがらない人が多い。そんな人たちが、買いたがるだろう。③おかげで、わたしも大もうけができる」

「b」

「もちろん、ききめはあるはずだ」

おとなりの主人は、それを聞きとがめた。

「c」

「ああ、わたしはこの研究に熱中し、そして完成した。しかし考えてみると、わたしはすでに英語ができる。だから、自分でたしかめてみるのが、できないのだ」

と、博士は少し困ったような顔になった。おとなりの主人は、恥ずかしそうに身を乗り出して言った。

「d」

「いいとも。やれやれ、①こうすぐに希望者があらわれるとは思わなかった」

「どれくらい、かかるのでしょうか」

「一カ月ぐらいで、かなり上達するはずだ」

「ありがとうございます」

と、おとなりの主人は、新発明のマクラを持って、うれしそうに帰っていった。

(星新一「きまぐれロボット」角川書店より)

(注1) ^{でんじは}電磁波:電波と磁気の波が同時に物質の中を伝わる現象。

(注2) 試作品:ためしに作ってみた物。

【問1】「①それ」というのとは何か。

① 研究室の物音

② 発明品の評判

③ エフ博士の声

④ とんりの様子

【問2】(②)に入る言葉を選びなさい。

① つまり

② そして

③ ただし

④ それに

【問3】博士は、発明品でどんなことができると言っているか。

① 眠る時に頭にのせれば、頭痛がなくなる

② 横に置いて眠ると、すばらしい夢が見られる

③ 電磁波の作用で、頭の中の知識が整理できる

④ 眠っている間に、英語を覚えることができる

【問4】下の□の文を読んで、文中「a」～「d」に入る組み合わせを選びなさい。

ア.とおっしゃると、まだたしかめていないのですか

イ.それなら、わたしに使わせてください。勉強はめんどくさいが、英語がうまくなりたいと思っていたところです。ぜひ、お願いします

ウ.驚くべき発明ではありませんか。どんななまけ者でも、夜、これをマクラにして寝ていさえすれば、なんでも身につけてしまうのですね

エ.ききめが本当にあるのでしたら、だれもが欲しがるにきまっていますよ

- ① アウエイ ② イエウア ③ エアイウ ④ ウエアイ

【問 5】「**●**おかげで、わたしも大もうけができる」とあるが、だれのおかげで大もうけができるのか。

- ① 大きなビジネスにしようとする人のおかげで
② 努力して勉強をしようとはしない人のおかげで
③ 発明品を大量生産し、大量に売る人のおかげで
④ 英語が上手に話せるようになった人のおかげで

【問 6】「**●**こうすぐに希望者があらわれるとは思わなかった」とあるが、博士の考えはどうだったのか。

- ① 自分自身で試すことができないので、人に試用をすすめられないと思った
② 新発明に夢中になっていたので、試用する人のことまで考えていなかった
③ 発明は得意だが宣伝するのは苦手なので、販売までに時間がかかると思った
④ 完成した試作品に自信がなかったので、他人は関心を持つとは思わなかった